

2018年3月産業見学会の概要

当商工会議所会員企業の三井海洋開発（MODEC）様のご厚意により2018年3月23日（金）Angra dos Reisにある造船所の岸壁に接岸しているFPSO（Floating Production, Storage and Offloading）という海底油田向け浮体式生産貯蔵積出設備の見学を下記日程で行いました。

7時：アルゼンチンビル前集合・発（バス）
10時：Angra dos Reisの造船所着
10時～11時30分：着替え、安全指導、プロジェクト説明
11時30分～12時30分：昼食（船上）
12時30分～14時00分：FPSO見学
17時00分：アルゼンチンビル前着・解散

なお、企業会員参加者数は29名。

本船は、日系企業（MODEC、三井物産、丸紅、商船三井、三井造船）がジョイントベンチャーで保有し、ブラジル石油公団（Petrobras）に対して生産サービスを提供するものです。本船（原油生産プラットフォーム）はすでに完成し、リオ州マカエ市沖125kmにあるアオウミガメ（Tartaruga Verde）と呼ばれる海底油田領域に係留される予定です。このような完成した運用前のFPSOを見学できることは非常に稀でありMODEC様のご厚意により実施可能となりました。

見学模様写真



着替え



着替えしてFPSOに向かう



プロジェクト説明する井出様



熱心に聞き入る参加者



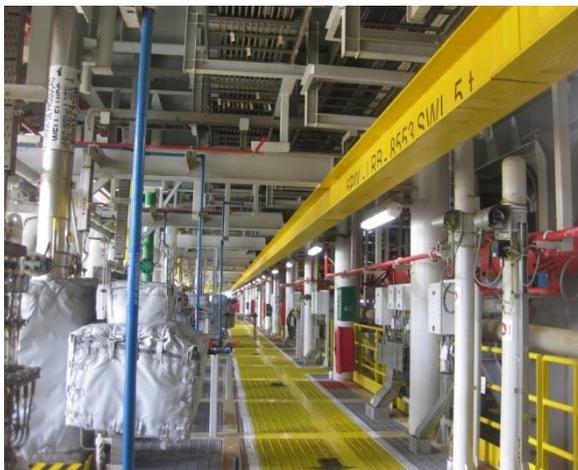
熱心に聞き入る参加者



FPSO に向かう



PFPSO 外観



FPSO 内観



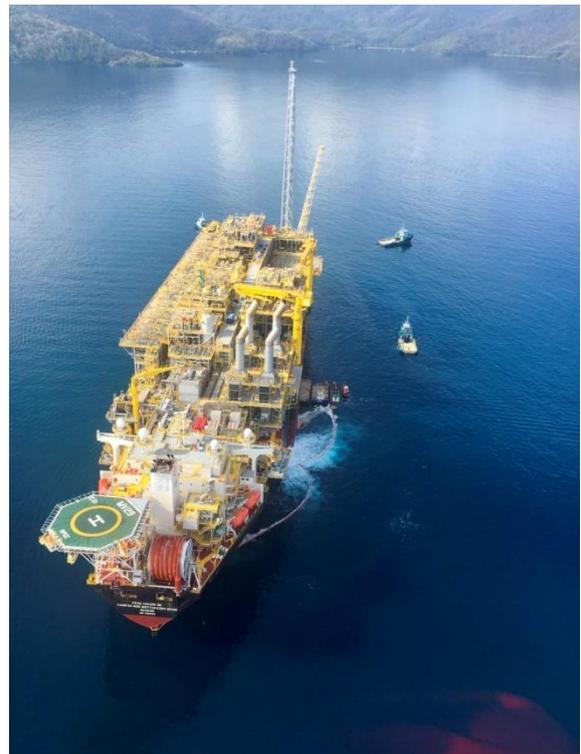
PFPSO 外観



船上で昼食を楽しむ参加者



船上のヘリポートで参加者一同の記念写真



原油生産プラットフォーム MV29 の全貌



原油生産プラットフォーム MV29 の全貌